

第

4

章

【第3期】

津幡町まち・ひと・しごと 創生総合戦略（地方創生プログラム）

第6次津幡町総合計画の基本計画を、2025（令和7）年6月13日に閣議決定された「地方創生2.0」の視点で再編したものを「地方創生プログラム」として位置づけ、「元氣あり!」「住んでよし!」「誰もが輝くまち」の要素に基づいた3つのプロジェクトからなる構成とします。

Project
1地域の好循環で活性化
元気あり! プロジェクト

- ① 地域資源が持つ潜在力を磨き上げる
- ② 人と人、地域と地域をつなげる
- ③ 新たな仕事や産業を生み出す

Project
2生活の質を高め魅力アップ
住んでよし! プロジェクト

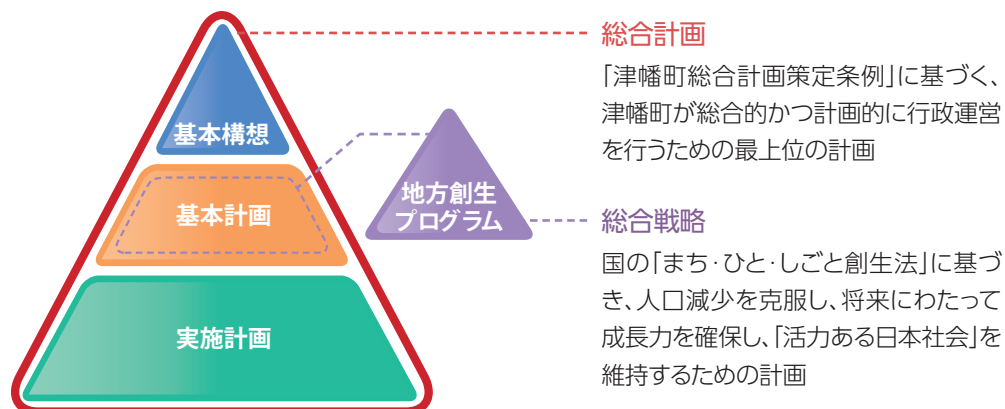
- ① 生活基盤を整える
- ② 一人ひとりの暮らしを地域で支え合う
- ③ つばたの魅力を伝え愛着を深める
- ④ 地域の課題を解決するため多様な主体が共創する

Project
3一人ひとりが主役
誰もが輝くまち プロジェクト

- ① 結婚・出産・子育てを応援する
- ② 未来を切り拓く知恵と力を育てる
- ③ 自分らしい成長や活躍を後押しする

I 計画の位置づけ

「津幡町総合戦略」は、国の「まち・ひと・しごと創生法」に基づき、人口の現状および将来の見通しを示した「津幡町人口ビジョン」を踏まえ、人口減少を克服し、「活力ある日本社会」を維持するための地方創生を目的とした計画です。本計画においても将来にわたって成長力を確保することを目指し、「地方創生プログラム」を「第3期津幡町まち・ひと・しごと創生総合戦略」として位置づけることとします。計画期間は、基本計画の前期計画期間と整合を図り、2026(令和8)年度から2030(令和12)年度までの5年間とします。



Project

1

地域の好循環で活性化

元気あり! プロジェクト

プロジェクトの方針

本町の将来像「元気あり!」には、「人口減少・少子高齢化が進行する社会においても、さらなる成長・活性化に向けて、多様な交流や活動を創出し、将来にわたって人々の活気と笑顔あふれるまちを目指す」という意味が込められています。

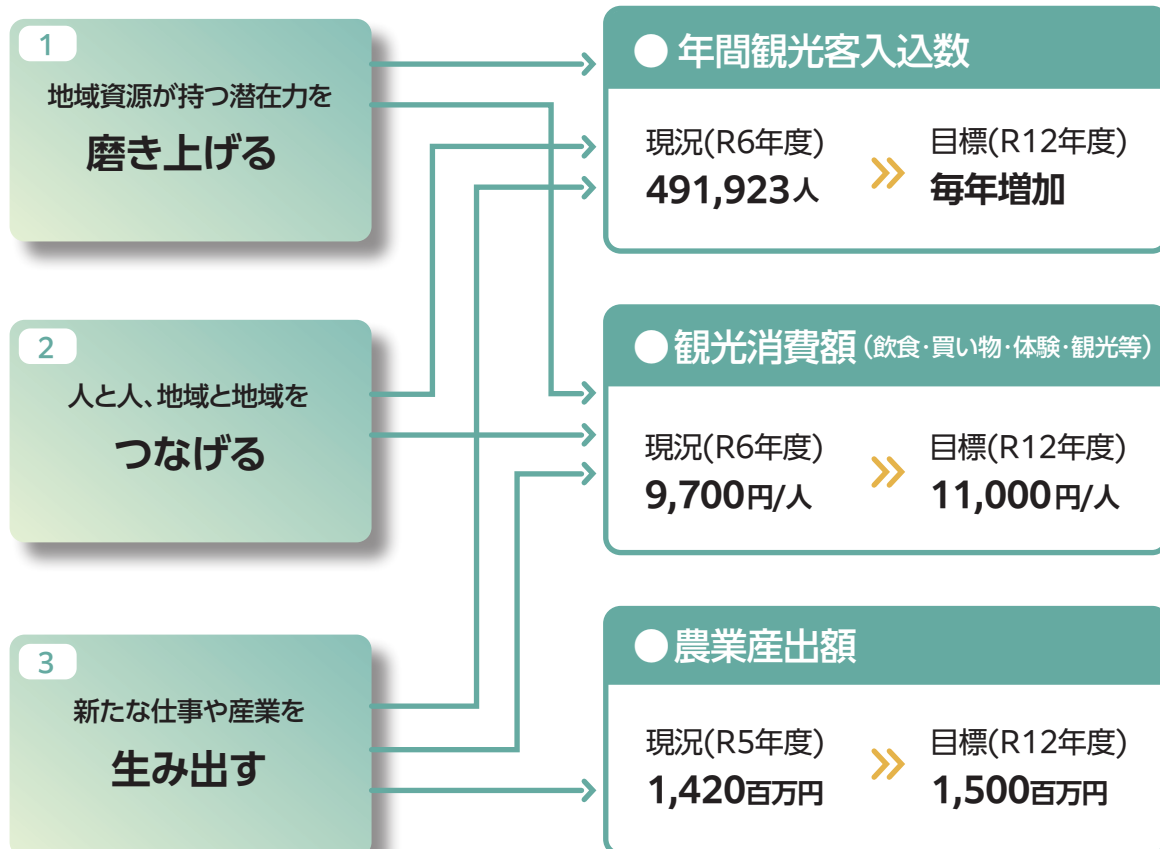
本プロジェクトの推進にあたり、「磨き上げる」「つなげる」「生み出す」の3つの方針に基づき、各施策に取り組んでいきます。「磨き上げる」では、本町ならではの多様で魅力ある地域資源を磨き上げるとともに、「つなげる」では、交流人口の拡大や観光振興により人や地域をつなげます。そして、「生み出す」では、新たな雇用機会や産業振興を通じて地域経済の好循環を生み出します。

町内外の人々が集い、にぎわいが生まれる仕組みづくりを進めるとともに、地域全体の経済循環を促進し、住む人が元気・活力を実感できるまちづくりを推進していきます。

成果指標

▼ プロジェクトの方針

▼ 成果指標



施策・KPI

1 地域資源が持つ潜在力を磨き上げる

Project

本町には、豊かな自然や里山環境、歴史や文化財、芸能など、多様で魅力的な地域資源が息づいています。これらを次世代へ継承しながら現代的な価値を加え、観光や交流の魅力として磨き上げることが重要です。本町の「地域資源が持つ潜在力を磨き上げる」ことで、地域の誇りとにぎわいを高め、魅力あるまちを実現します。

施策	総合計画との対応
● 豊かな自然・里山環境の活用	2-1①
● 文化財の保護と継承	2-1②
● 歴史・芸能・文化の継承	2-1③
● 歴史文化伝承施設の活用	2-1④
● 観光・交流資源の磨き上げの推進	2-2②

▼ KPI(重要業績評価指標)

評価指標	基準値	目標値
● 森林セラピー参加者数	117人(R6年度)	➔ 120人(R12年度)
● 津幡ブランド認定数	全体数:20件(R6年度) 認定数:4件(R2年度～R6年度の累計)	➔ 全体数:25件(R12年度) 認定数:5件(R8年度～R12年度の累計)
● ふるさと納税寄付額	45百万円(R6年度)	➔ 90百万円(R12年度)

2 人と人、地域と地域をつなげる

Project

本町の歴史、自然、文化、交通利便性といった強みを最大限に活かし、観光客の誘致や祭りなどの観光・交流イベントの開催、情報発信の強化を通じて交流人口の拡大を図ります。また、地域内でも世代や分野を超えて人のつながりを深めるとともに、「人と人、地域と地域をつなげる」ことで、町全体の活力向上を目指します。

施策	総合計画との対応
● 観光・交流拠点の整備・活用	2-2①
● 観光受け入れ体制の強化	2-2③
● 多様な情報発信の推進	2-2④
● 広域観光の推進	2-2⑤
● 公共交通の利便性向上と利用促進	1-4⑤

▼ KPI(重要業績評価指標)

評価指標	基準値	目標値
● 観光ボランティアによる案内人数	850人(R6年度)	→ 850人(R12年度)
● 各種メディアを活用した観光情報発信	147回(R6年度)	→ 200回(R12年度)
● JR・IRの乗降客数	6,663人/日(R6年度)	→ 7,850人/日(R12年度)

3 新たな仕事や産業を生み出す

Project

本町では、地域の人口流出防止や定住促進、持続可能な地域経済の構築を目指し、産業の振興や企業誘致、創業支援を通じて、多様で安定した雇用機会を創出します。町内に「新たな仕事や産業を生み出す」ことで、地域全体の活力と持続可能な発展につなげます。

施策	総合計画との対応
● 農林業の振興	2-3①
● 商業の振興	2-3②
● 工業の振興	2-3③
● 雇用機会の創出	2-3④

▼ KPI(重要業績評価指標)

評価指標	基準値	目標値
● 農地所有適格法人の合併数	1経営体(R6年度)	➔ 2経営体(R8年度～R12年度の累計)
● 遊休農地の面積	48ha(R6年度)	➔ 43ha(R12年度)
● 6次産業化推進事業補助金利用件数	1件(R2年度～R6年度の累計)	➔ 3件(R8年度～R12年度の累計)
● 木材の搬出量	7,895m ³ (R6年度)	➔ 16,000m ³ (R12年度)
● 商工会等と連携した創業支援件数	40件(R2年度～R6年度の累計)	➔ 50件(R8年度～R12年度の累計)
● 企業誘致件数	2件(R2年度～R6年度の累計)	➔ 5件(R8年度～R12年度の累計)
● 商工業振興促進助成金申込件数	1件(R2年度～R6年度の累計)	➔ 5件(R8年度～R12年度の累計)

Project

2

生活の質を高め魅力アップ

住んでよし! プロジェクト

プロジェクトの方針

本町の将来像「住んでよし!」には、「豊かな自然環境や、交通・買物の便の良さといった本町の強みを最大限に活かし、安全・安心で便利に暮らせる住みよいまちを目指す」という意味が込められています。

本プロジェクトの推進にあたり、「整える」「支え合う」「深める」「共創する」の4つの方針に基づき、各施策に取り組んでいきます。「整える」では、快適で機能的な都市基盤を整備し、「支え合う」では医療・福祉サービスを提供し、支え合いの体制づくりを支援します。「深める」では移住・定住につなげるため、本町の魅力を伝えるとともに、ふるさとへの愛着を深め、選んでもらえるまちづくりを進めます。「共創する」では地域の課題解決に向け、住民同士が協力し新たな価値を創造していくまちづくりを進めます。

すべての人にとって住みよいまちとなり、本町を選んでもらう・住みつけてもらうために、本町の魅力や暮らしやすさを高めていきます。

成果指標

▼ プロジェクトの方針

1
生活基盤を
整える

2
一人ひとりの暮らしを地域で
支え合う

3
つばたの魅力を伝え愛着を
深める

4
地域の課題を解決するため
多様な主体が
共創する

▼ 成果指標

● 人口の社会増減

現況(R6年度)	目標(R12年度)
103人	60人

● 期間合計特殊出生率

現況(R5年度)	目標(R12年度)
1.48	1.59

施策・KPI

1 生活基盤を整える

Project

道路、上下水道、公共交通、防災施設など、日常生活に欠かせない都市インフラの整備や維持管理・更新を計画的に進めます。また、近年の自然災害リスクに備えた防災・減災対策にも重点を置き、災害に強いまちづくりを推進します。「生活基盤を整える」ことで、町民の安心・快適な暮らしを守ります。

施策	総合計画との対応
● 災害に備えた体制づくり	1-1①
● 防災・減災基盤の充実	1-1②
● 消防力の充実・強化	1-1③
● 救急救助体制の充実	1-1④
● 防犯・消費者トラブル対策の充実	1-2①
● 交通安全対策の充実	1-2②
● 豊かな自然・里山環境の保全	1-3①
● 地球温暖化対策の推進	1-3②
● 生活環境の保全	1-3③
● ごみの減量化、資源化の推進	1-3④
● 環境美化の推進	1-3⑤
● 良好な市街地の整備	1-4①
● 道路網の整備と適正な維持管理	1-4④
● 公共交通の利便性向上と利用促進【再掲】	1-4⑤
● 上下水道の適切な維持管理と更新	1-4⑥

▼ KPI(重要業績評価指標)

評価指標	基準値	目標値
● 町営バスの利用者数	242人/日(R6年度)	➔ 270人/日(R12年度)
● 耐震性貯水槽数	210基(R6年度)	➔ 215基(R12年度)
● 刑法犯罪発生件数	110件(R6年)	➔ 105件(R12年)
● 住宅用火災警報器の設置率	94.15%(R6年度)	➔ 96%(R12年度)
● 応急手当講習受講者数	30,042人(R6年度)	➔ 35,000人(R12年度)
● 1人1日当たりの燃えるごみ(家庭ごみ)の排出量	394g(R6年度)	➔ 354g(R12年度)
● 防災士数	252人(R6年度)	➔ 408人(R12年度)
● 都市計画道路整備率	77%(R6年度)	➔ 78.7%(R12年度)
● 水道等普及率	99.6%(R4年度)	➔ 99.8%(R12年度)
● 交通事故発生件数	41件(R6年)	➔ 40件(R12年)

2 一人ひとりの暮らしを地域で支え合う

Project

高齢者、障害者、子育て世帯など多様なニーズに応じた相談・支援体制を強化します。地域包括ケアの推進や医療体制の充実、在宅医療や福祉サービスの拡充により、誰もが健康で安心して暮らせる町を目指します。「一人ひとりの暮らしを地域で支え合う」ことで、若い世代から高齢者まで、誰もが安心して住み続けられる環境を整備します。

施策	総合計画との対応
● 地域福祉の充実	3-2①
● 高齢者福祉の充実	3-2②
● 障害者福祉の充実	3-2③
● 社会保障制度の維持・充実	3-2④
● 健康づくりの推進	3-3①
● 地域医療体制の充実・強化	3-3②
● 救急医療体制の充実	3-3③

▼ KPI(重要業績評価指標)

評価指標	基準値	目標値
● 民生委員・児童委員充足率	100%(R6年度)	➔ 100%(R12年度)
● 特定健康診査受診率	44.8%(R6年度)	➔ 60%(R12年度)
● 要介護・要支援認定率	3.3%【65～74歳】 26.8%【75歳以上】 (R6年度)	➔ 4.0%【65～74歳】 32.0%【75歳以上】 (R12年度)
● ふれあい・いきいきサロン数	60箇所 (R6年度)	➔ 70箇所 (R12年度)
● 後期高齢者医療費	100.2万円/年 (R6年度)	➔ 100万円/年 (R12年度)

3 つばたの魅力を伝え愛着を深める

Project

本町の魅力を発信し、地域への愛着と誇りを育むことは、定住や移住の促進につながる重要な要素です。本町では、空き家対策や雇用の創出に取り組むとともに、情報発信や行政サービスの充実を通じて、暮らしやすく選ばれるまちを目指します。「つばたの魅力を伝え愛着を深める」ことで、人口流出・減少を防ぎ、持続可能な地域経済の構築を目指します。

施策	総合計画との対応
● 総合的な空き家対策の推進	1-4 ②
● 定住の促進	1-4 ③
● 雇用機会の創出【再掲】	2-3 ④
● ふるさと「つばた」への愛着の醸成	4-2 ①
● 情報提供の充実	5-3 ①
● 行政サービスの充実	5-3 ②
● 効率的な行政運営の推進	5-3 ③

▼ KPI(重要業績評価指標)

評価指標	基準値	目標値
● 移住・定住ポータルサイトアクセス数	11,064アクセス(R6年度)	➔ 毎年増加(R12年度)
● 三世帯ファミリー支援制度申請件数	94件(R2年度～R6年度の累計)	➔ 100件(R8年度～R12年度の累計)
● 空き家バンク登録物件数	9件(R2年度～R6年度の累計)	➔ 15件(R8年度～R12年度の累計)
● 津幡ふるさと歴史館(れきしる)利用者数	3,019人(R6年度)	➔ 3,700人(R12年度)
● 石川中央都市圏での連携事業数	98事業(R6年度)	➔ 123事業(R12年度)
● 危険空家除却等支援補助金を活用した除却件数	3件(R2年度～R6年度の累計)	➔ 10件(R8年度～R12年度の累計)
● 町LINE公式アカウント登録者数	15,090人(R6年度)	➔ 18,500人(R12年度)
● 各種メディアを活用した観光情報発信【再掲】	147回(R6年度)	➔ 200回(R12年度)
● マイナンバーカード保有率	83.6%(R6年度)	➔ 87.0%(R12年度)
● ICTを活用した申請件数	13,490件【電子申請】 8,471件【コンビニ】(R6年度)	➔ 27,000件【電子申請】 11,000件【コンビニ】(R12年度)

4 地域の課題を解決するため 多様な主体が共創する

Project

本町では、少子高齢化や地域のつながりの希薄化など、地域が抱える多様な課題を解決するために、住民・地域団体・企業・行政が連携し、共に取組む仕組みづくりを進めます。地域コミュニティの活動を支えるとともに、住民が主体的にまちづくりに参画できる環境を整え、多様性と包摂性のある地域社会の実現を目指します。「地域の課題を解決するため多様な主体が共創する」ことで、自らの暮らしをより良くしていくことを目指します。

施策	総合計画との対応
● 地域コミュニティ活動の促進	5-1①
● 地域コミュニティセンターの整備・充実	5-1②
● 参画と協働の促進	5-1④
● 男女共同参画の推進	5-2②

▼ KPI(重要業績評価指標)

評価指標	基準値	目標値
● 防災士数【再掲】	252人(R6年度)	→ 408人(R12年度)
● 刑法犯罪発生件数【再掲】	110件(R6年)	→ 105件(R12年)
● 公共土木施設愛護活動支援事業 愛護ボランティア団体数	48団体(R6年度)	→ 50団体(R12年度)
● 介護支援ボランティアポイント制度 登録者数	289人(R6年度)	→ 430人(R12年度)
● 人権講座参加人数	172人(R6年度)	→ 1,500人(R8年度～R12年度の累計)
● 審議会等における女性委員の割合	23%(R6年度)	→ 40%(R12年度)

Project
3

一人ひとりが主役

誰もが輝くまち プロジェクト

プロジェクトの方針

本町の将来像「誰もが輝くまち つばた」には、「老若男女問わず誰もが自己実現に向けて学び・成長し、自分らしく魅力的に輝くことができるまちを目指すとともに、“つばた”から全国・世界へその輝きを広げていくことを目指す」という意味が込められています。

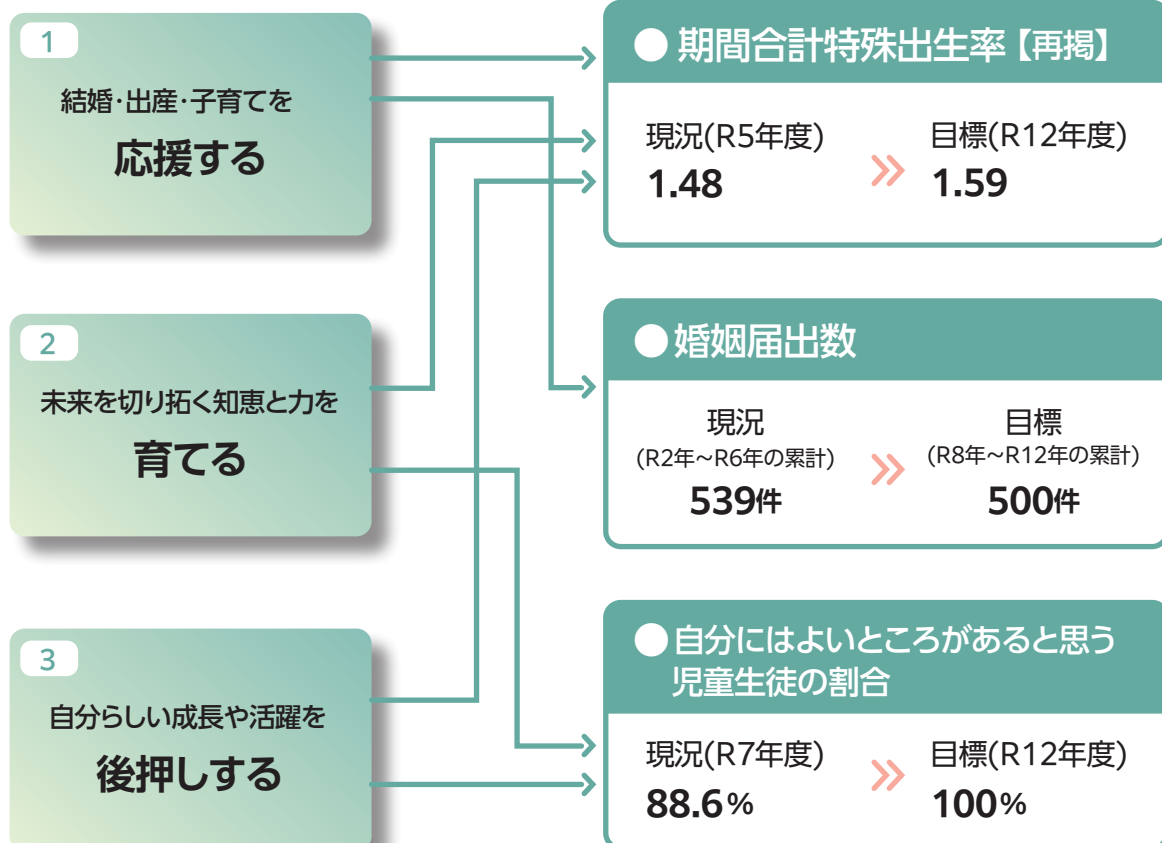
本プロジェクトの推進にあたり、「応援する」「育てる」「後押しする」の3つの方針に基づき、各施策に取り組んでいきます。「応援する」では結婚・妊娠・出産・子育てへの切れ目ない支援体制を通じ、子育て世代や子どもの成長を応援するとともに、「育てる」ではふるさと津幡を担う人づくりとして教育環境の充実を進めます。そして「後押しする」では、年齢や性別に関わらず誰もが持つ能力や経験を発揮できる活躍の場を広げていきます。

本町の未来を担う人材が育つ環境を整備するとともに、世代を超えて人と人とのつながりが生まれ、すべての人が生涯にわたって自分らしく輝き、誰もが主役となって活躍できるまちを実現していきます。

成果指標

▼ プロジェクトの方針

▼ 成果指標



施策・KPI

1 結婚・出産・子育てを応援する

Project

保護者だけでなく地域全体で子育てを支える体制を強化し、家庭教育の充実も図ることで、子どもたちの健やかな成長と、子育て世代の暮らしやすさを両立します。「結婚・出産・子育てを応援する」ことで、結婚・妊娠・出産・子育ての各段階に寄り添い、安心して家庭を築き、子どもを育てられる環境づくりを進めます。

施策	総合計画との対応
● 安心して結婚・妊娠・出産できる環境の充実	3-1①
● 子育て支援の充実	3-1②
● 家庭教育の充実と地域ぐるみの支援体制の強化	3-1③

▼ KPI(重要業績評価指標)

評価指標	基準値	目標値
● 結婚相談事業によるあっせん紹介組数	38組(R6年度)	➔ 40組(R12年度)
● 認定こども園等の待機児童数	0人(R6年度)	➔ 0人(R12年度)
● 児童センター利用者数	13,901人(R6年度)	➔ 17,000人(R12年度)
● 三世代ファミリー支援制度申請件数【再掲】	94件(R2年度～R6年度の累計)	➔ 100件(R8年度～R12年度の累計)
● 常勤職員配置改善の補助メニューを活用する放課後児童クラブ数	14クラブ(R6年度)	➔ 16クラブ(R12年度)
● ファミリー・サポート・センター利用者数	118人(R6年度)	➔ 150人(R12年度)
● 子育て支援センター利用者数	14,234人(R6年度)	➔ 17,400人(R12年度)
● 病児保育利用者数	410人 (R6年度【病児】) (R7年度見込【病後児】)	➔ 450人(R12年度)

2 未来を切り拓く知恵と力を育てる

Project

すべての子どもが個性や能力を伸ばし、将来を自ら切り拓けるよう、学力・非認知能力・情報活用力・キャリア意識など、多様な力を育む教育を推進します。また、学校・家庭・地域が連携し、教育環境を整えるとともに、教職員の育成・支援にも取り組めます。「未来を切り拓く知恵と力を育てる」ことで、本町の次代を担う人材を確保・育成していきます。

施策	総合計画との対応
● 確かな学力の育成	4-1 ①
● 情報活用能力の育成	4-1 ②
● キャリア教育の推進	4-1 ③
● 非認知能力の育成	4-1 ④
● イノベーションを担う人材の育成	4-2 ②
● グローバル社会で活躍する人材の育成	4-2 ③
● 心の教育、道徳教育の充実	4-2 ④
● 健やかな体の育成	4-2 ⑤
● 青少年の健全育成	4-2 ⑥
● 多様な教育ニーズへの対応	4-4 ①
● 安全・安心な教育環境の整備促進	4-4 ②
● 教職員研修の充実と労働環境の向上	4-4 ③
● 現代的・社会的課題に対応した学習の充実	4-4 ④
● 学校・家庭・地域との連携・協働	4-4 ⑤
● 地域の教育力の向上	5-1 ③

▼ KPI(重要業績評価指標)

評価指標	基準値	目標値
● こども科学館利用者数	3,521人(R6年度)	➔ 3,900人(R12年度)
● 津幡ふるさと歴史館(れきしる)利用者数【再掲】	3,019人(R6年度)	➔ 3,700人(R12年度)
● 学校に行くのは楽しい児童生徒の割合	89.8%(R7年度)	➔ 向上(R12年度)

3 自分らしい成長や活躍を後押しする

Project

生涯学習の推進や、スポーツ・芸術文化活動の振興を通じ、学びや交流、健康づくりの機会を広げます。また、誰もが主体的に地域づくりに参加し、多様な価値観を尊重し合いながら、活躍できるまちづくりを進めます。さまざまな地域活動や社会参加の場で、「自分らしい成長や活躍を後押しする」ことで、支え合いながら生きがいを持てる地域社会づくりを進めます。

施策	総合計画との対応
● 生涯学習の推進	4-3 ①
● 良質な図書館サービスの推進	4-3 ②
● スポーツを通じた地域づくり	4-3 ③
● スポーツ環境の整備	4-3 ④
● 芸術文化活動の振興と地域づくり	4-3 ⑤
● 地域コミュニティ活動の促進【再掲】	5-1 ①
● 地域コミュニティセンターの整備・充実【再掲】	5-1 ②
● 参画と協働の促進【再掲】	5-1 ④
● 人権の尊重・啓発の推進	5-2 ①
● 男女共同参画の推進【再掲】	5-2 ②

▼ KPI(重要業績評価指標)

評価指標	基準値	目標値
● 文化会館(シグナス)利用者数	125,116人(R6年度) →	135,000人(R12年度)
● 津幡運動公園利用者数	103,475人(R6年度) →	115,000人(R12年度)
● 生涯学習講座や講演会の受講率(人口比)	3%(R6年度) →	5%(R12年度)
● 図書館利用者数 (デジタルライブラリーの利用者も含む)	139,315人(R6年度) →	150,000人(R12年度)
● 中学校部活動の地域クラブへの移行数	2クラブ(R6年度) →	10クラブ(R12年度)

